



47 と どう ふ けん 都道府県

でんとうぎじゅつ
伝統技術・
でんとうぶんか
伝統文化

なるほど
クイズブック



教育画劇

47都道府県

伝統技術

伝統文化

なるほどクイズブック

上巻

もくじ

北海道～中部地方の伝統技術・伝統文化	4
この本の使い方	5

北海道・東北地方

ほっかいどう・とうほくちほう

北海道の伝統技術・伝統文化クイズ	6
答え	8

青森県の伝統技術・伝統文化クイズ	10
答え	12

岩手県の伝統技術・伝統文化クイズ	14
答え	16

宮城県の伝統技術・伝統文化クイズ	18
答え	20

秋田県の伝統技術・伝統文化クイズ	22
答え	24

山形県の伝統技術・伝統文化クイズ	26
答え	28

福島県の伝統技術・伝統文化クイズ	30
答え	32

関東地方

かんとうちほう

茨城県の伝統技術・伝統文化クイズ	34
答え	36

栃木県の伝統技術・伝統文化クイズ	38
答え	40

群馬県の伝統技術・伝統文化クイズ	42
答え	44

埼玉県の伝統技術・伝統文化クイズ	46
答え	48

千葉県の伝統技術・伝統文化クイズ	50
答え	52

東京都の伝統技術・伝統文化クイズ	54
答え	56

神奈川県 の 伝統技術・伝統文化クイズ	58
答え	60

中部地方

ちゅうぶちほう

新潟県の伝統技術・伝統文化クイズ	62
答え	64

富山県の伝統技術・伝統文化クイズ	66
答え	68

石川県の伝統技術・伝統文化クイズ	70
答え	72

福井県の伝統技術・伝統文化クイズ	74
答え	76

山梨県の伝統技術・伝統文化クイズ	78
答え	80

長野県の伝統技術・伝統文化クイズ	82
答え	84

岐阜県の伝統技術・伝統文化クイズ	86
答え	88

静岡県の伝統技術・伝統文化クイズ	90
答え	92

愛知県の伝統技術・伝統文化クイズ	94
答え	96

いろいろな地域のならわし・行事	98
写真提供・協力者一覧、参考文献、資料	99

答え

●内容・データについて

本書でしようかいしている伝統技術は、国が指定した「伝統的工芸品」や各都道府県が定めた「伝統工芸品」を参考に選んでいます。

本書でしようかいしている伝統文化は、各都道府県の観光協会、観光連盟などが運営するホームページなどを参考に選んでいます。

伝統文化は、祭り、祭事、神事、神社仏閣や地域の見どころ、行事などのほか、その地域に伝わる特産品、郷土料理などもふくみます。

本書でしようかいしている郷土料理やお菓子は、しょうかいされている都道府県以外でも食べられているものもあります。

祭りの名称や表記は、各地域の表記、各都道府県で使われている表記に従いました。

地図の記号

	都道府県庁所在地		高速道路
	旭川市		新幹線
	小平町		JR・私鉄鉄道
	五稜郭		国際空港
	山		

※各都道府県の地図では、都道府県庁所在地とおもな都市、町村を記しています。そのほか、山や川、空港、港、鉄道、高速道路などは、おもなものを表記しています。

秋田県の

伝統技術 伝統文化

クイズ



北部に連なる山やまで育つ秋田杉を使った工芸品が多く、林業が栄えています。また、自然環境に恵まれ、米づくりに適した環境から、きりたんぼなどの食文化が育まれました。遺跡も多く残され、数かずの文化が築かれています。

問題

うすい木の板を加工し、弁当箱、おひつ、カップなどをつくる、秋田を代表する工芸品を何という？



- ① 白神細工
- ② 曲げわっぱ
- ③ 秋田バツケ

問題

舌を出した男女の顔がえがかれた、能代市に伝わる凧。これを何という？



●能代観光協会

- ① あっかんべえ凧
- ② べらぼう凧
- ③ 歌舞伎凧

問題

長い竹ざおにちょうちんをつるして練り歩く「竿燈まつり」。このちょうちんは何に見立てられている？



- ① 米俵
- ② 小判
- ③ まゆ

問題

金属を少しずつたたいて形をつくる「空目銅」。昔、秋田でとれた銅とある金属を使っています。その金属とは？



※木目金、空目金とも表記します。

- ① 鉄
- ② 銀
- ③ アルミ



●秋田県観光連盟

問題



茶筒や箱がつくられている「かば細工」。何の木が原材料として使われている？



●秋田県観光連盟

- ① しい
- ② なら
- ③ 桜

問題



炊いた米をすりつぶし、竹にねりつけて焼いた「きりたんぼ」。もともとだれが食べていた物？



- ① 殿様
- ② 船乗り
- ③ またぎ (獵師)

問題



大みそかの晩に「泣く子はいねがー？」と大声で地域の家いえを回る鬼を何という？



- ① なまはげ
- ② おいはぎ
- ③ かわはぎ

問題



江戸時代の初め、殿様が連れてきた職人の技術が、現在、秋田の名物といわれています。それは何の技術？

- ① 花火づくり
- ② 家づくり
- ③ 陶器づくり



問題



●秋田県観光連盟

「川連漆器」をつくるのに、木地をじょうぶにするため、ある果物の汁が使われています。その果物とは？

- ① みかん
- ② もも
- ③ 柿

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

秋田県の伝統技術・伝統文化

埼玉県の

伝統技術 伝統文化



山地よりも平野が多く、そこでは米や小麦が
くられ、食文化にいかされてきました。江戸や
日光に近い、近世には商いで栄え、豊富に
あった桐の木や、絹の生産の伝統をいかした特
産品が生まれて、今に受けつがれています。

問題

1

さいたま市の岩槻では、昔から
人形づくりが盛んです。「岩槻
人形」の白くきれいな肌は、何
でできているでしょう？



- Ⓐ 貝をくだいた粉
- Ⓑ 絹の布
- Ⓒ 小麦粉



問題

2

この写真の獅子舞は、深谷市
血洗島の伝統芸能です。子ど
ものころにこの獅子舞を舞っ
た有名人は？



- Ⓐ 津田梅子
- Ⓑ 北里柴三郎
- Ⓒ 渋谷栄一



問題

3

埼玉県でつくられる、あまく
濃い味わいのお茶といえば？



- Ⓐ 狭山茶
- Ⓑ 幸手茶
- Ⓒ 坂戸茶



問題

4

この大たん
な柄の織物は、
埼玉県の伝統
工芸品です。
その名は？



- Ⓐ 川越銘仙
- Ⓑ さいたま銘仙
- Ⓒ 秩父銘仙

問題

5

秩父市吉田の棕神社では、毎年10月に、ある神事が
行われてきました。写真はその一場面で、やぐらとけ
むりが見えますが、どんな神事？



- Ⓐ 巫女が手づくりした花火を打ち上げる
- Ⓑ 農民が手づくりしたロケットを打ち上げる
- Ⓒ 神官がやぐらに火をつけ、上空から消火する



問題

6

江戸時代から「小江戸」とよばれて栄
えた城下町で、写真のような山車が
出る祭りでも有名な場所は？



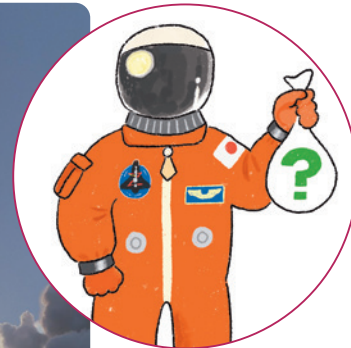
- Ⓐ 川越 (今の川越市)
- Ⓑ 岩槻 (今のさいたま市)
- Ⓒ 忍 (今の行田市)



問題

7

宇宙飛行士のおやつとし
て宇宙へ行ったこともあ
る、草加市の名物は？



- Ⓐ だんご
- Ⓑ せんべい
- Ⓒ 水ようかん

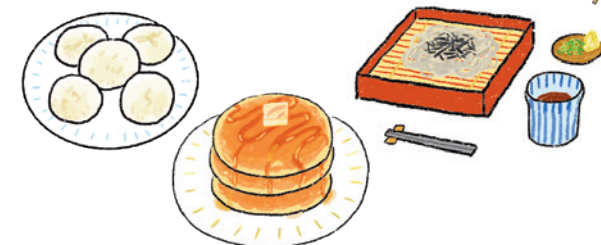
問題

8

埼玉県では古くから、多くの
農家が小麦をつくってきまし
た。小麦を使った食べ物をよ
く食べることから、「朝××
×に昼うどん」という言葉が
残っています。「×××」
に入る食べ物は？



- Ⓐ まんじゅう
- Ⓑ そば
- Ⓒ パンケーキ



関東地方

かんとうちほう

埼玉県の伝統技術・伝統文化

② ⑥ 渋沢栄一

「血洗島獅子舞」は、血洗島の神社にささげられる舞です。少年が獅子の役をして舞います。

「日本の近代社会の創造者」ともよばれる渋沢栄一は、ここ深谷市血洗島で生まれ、子どものころにこの獅子舞を舞いました。

深谷市②

埼玉県の歴史的人物

渋沢栄一



財務省ウェブサイト

2024年7月から新一万円札の絵柄にもなる渋沢栄一は、明治・大正時代の実業家です(1840-1931年)。江戸幕府最後の将軍、徳川慶喜に仕えた後、明治時代に日本初の銀行(第一国立銀行＝今のみずほ銀行)をつくったほか、500もの会社の育成に関わり、多くの社会事業や教育機関を支え、近代的な社会の基礎を固めました。

まだある！

埼玉県の伝統

春日部桐華苺、行田足袋、武州正藍染、熊谷染、江戸木目込人形、横瀬人形、江戸押絵、越谷張り子、鴻巣の赤物人形、五関の張り子、小川和紙、五家宝、秩父夜祭、鷲宮権馬楽神楽、のたまこ、猪俣の百八燈、岩槻の古式土俵入り、玉敷神社、東松山上岡観音の絵馬市など。

① ④ 貝をくだいた粉

石こうでできた人形の頭に、貝がらをくだいた粉「胡粉」を塗っています。江戸時代には、桐の粉を固めてつくった頭に胡粉を塗りました。岩槻は、ひな人形や市松人形などを手作業で美しくつくり続けてきた「人形の町」です。



岩槻市④

日光御成道の宿場町

江戸時代、岩槻は江戸と日光をつなぐ街道「日光御成道」の宿場町でした。3代将軍家光の時代、日光東照宮の造営のために全国から職人が集められ、そうした職人が岩槻に住むようになりました。その中に人形づくりをする人がいたことが、岩槻の人形づくりの始まりともいわれます。この街道の宿場町には、ほかに川口宿、鳩ヶ谷宿(川口市)などがあります。



③ ⑤ 狭山茶

入間市や狭山市、所沢市のあたりでは、古くから茶が栽培され、江戸時代には今のような茶の生産が行われていました。有名な茶の産地は全国にあります。埼玉県はそのなかで最も北にあります。「狭山火入れ」という独特の仕上げで、あまく濃い味になります。



狭山市、入間市、所沢市ほか⑤

④ ⑦ 秩父銘仙

秩父銘仙は「ほぐし捺染」という手法で染めるため、それまでの布地にはない、大きく美しい柄を染めることができました。これが大正時代の女性たちに人気となり、秩父銘仙の着物は当時の日本をいろどったのです。



秩父市④

⑤ ⑧ 農民が手づくりしたロケットを打ち上げる

「龍勢祭」とよばれる神事です。山で松や竹などを切り出し、2年間乾燥させてから、火薬とともにロケット(龍勢)として組み上げます。この技術は、氏子の農民たちの間で受けつがれてきました。山ぎわに建てたやぐらから打ち上げ、ロケットの先から落下傘などのしかけが出たら成功です。



秩父市下吉田⑤

⑥ ⑨ 川越(今の川越市)

川越(河越)は、平安時代末から力をもった武士、河越氏が治めていた地域で、15世紀に河越城が築かれました。17世紀には松平氏が治め、新河岸川の舟運と川越街道で江戸とつながり、商業でにぎわいました。47ページの写真は、江戸時代から続く「川越氷川祭」(川越まつり)で、江戸の「天下祭」に近いすがたを残しています。



川越市⑥

⑦ ⑩ せんべい

江戸時代から人気の続く名物「草加せんべい」です。2000年、埼玉県出身の若田光一宇宙飛行士が、おやつとして宇宙へ持っていきました。江戸時代、塩せんべいにしょうゆを塗って香ばしく焼きあげたものが各地でつくられました。日光街道を行く人びとの間で特に人気となったのが、草加せんべいでした。



草加市⑦

⑧ ⑪ まんじゅう

お盆など夏の行事のときには、小麦でまんじゅうやうどんをたくさんつくり、連日それを食べたことから「朝まんじゅうに昼うどん」という言葉が生まれました。小麦は、米の「裏作」として、稲をかりとったあと、冬の間に栽培されてきました。嵐山町や鴻巣市ほか、埼玉県北東部に多く見られる裏作です。



嵐山町⑧、鴻巣市⑨ほか県北東部

埼玉県の伝統技術・伝統文化の歴史と背景	
年表	
飛鳥時代	7世紀 武蔵国が置かれる
室町時代	15世紀ごろ 河越城(今の川越市)、岩付城(今のさいたま市岩槻区)、忍城(今の行田市)が築かれる
江戸時代	1600年ごろ 草加宿、川口宿ができる
江戸時代	1636年 將軍徳川家光が日光東照宮のおもな社殿を造営。参詣のために將軍が日光御成道を通るようになり宿場町が栄える
江戸時代	17世紀ごろ 桐の木材を使った草苺づくりなどが行われる
江戸時代	1648年 川越藩主の松平信綱が氷川神社にみこしなどを寄進
江戸時代	18世紀 秩父で絹織物の生産が盛んになり、江戸へ送られる
明治時代	1871年 廃藩置県後に埼玉県と入間県が誕生する
昭和時代	1982年 大宮駅が開業し、東北、上越新幹線の始発となる

埼玉県すがた



西部の高い山地と東部の平野からなる内陸県です。もともと東京都などとともに武蔵国の一部でしたが、1871年の廃藩置県後に埼玉県と入間県が誕生。1876年に両県が合併し、現在と同じ広さになりました。



石川県の 伝統技術 伝統文化

でんとうぎじゅつ
でんとうぶんか

クイズ

湿度が高く、冬に雪が多く降ります。山地が多く海に面しているため、林業や水産業が行われています。江戸時代に加賀藩が治めたことによって生まれたはなやかな織物や焼き物、和菓子などが、現代に伝えられています。

問題 1



輪島市で生産される「輪島塗」。
じょうぶなつくりをしています
が、どうやってつくる？

- ① かたい木を選ぶ
- ② 布をはって補強する
- ③ 高温で熱する

問題 2



えんぎのよい置き物の加賀獅子頭は、あるお祝いで獅子舞を演じたことがきっかけでつくられました。何のお祝い？

- ① お正月のお祝い
- ② 徳川家の姫が加賀藩主にとついだお祝い
- ③ 初代加賀藩主が金沢城にきたお祝い

問題 3

加賀市で生まれた九谷焼。ほかに何とよばれていた？

- ① 大聖寺焼
- ② 極楽寺焼
- ③ 医薬寺焼

◎ 石川県観光連盟



美しい絵つけの九谷焼

◎ 石川県観光連盟



今では加賀百万石まつり（毎年6月に開催。写真下）に獅子舞行列として登場します。巨大な頭と胴体が特ちょう的です。



問題 4



今から約370年前に確立された加賀友禅。5色を基本としています。えんじ、黄土、草、紫と何？

- ① 藍
- ② だいたい
- ③ 茶

問題 5



純金に銀や銅を少量加えた合金をうすくのばしてつくられる金沢箔。10円玉ほどの大きさの合金をどのくらいにのばす？

- ① ふとんの大きさ（210 × 100cm）
- ② たたみ4～5枚分の大きさ（364 ～ 455 × 182cm）
- ③ 25m プール4レーン分の大きさ（2500 × 1000cm）

◎ 石川県観光連盟



金沢箔をはったさかずきと物入れ

問題 7



日本遺産に認定されたキリコ祭り。能登半島周辺で夏に行われます。全部でどのくらいの地区が参加する？

- ① 50 地区
- ② 100 地区
- ③ 200 地区

問題 6



日本三大和菓子どころのひとつとされる金沢市（ほかは、京都、松江）。名物の五色生菓子の五色とは天地の恵みを表しています。日（太陽）、月、山、海と何でしょう？

- ① 風
- ② 雪
- ③ 里

◎ 金沢市



五色生菓子は、お祝いの席に出される和菓子



◎ 石川県観光連盟

キリコとは、「切子灯籠」をちぢめたよび名。山車の一種で、大きな直方体の形をしています。

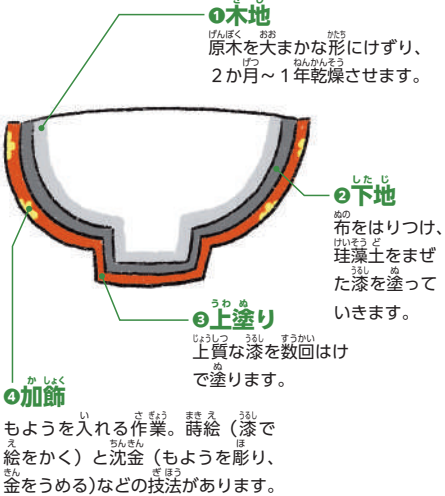
石川県の伝統技術・伝統文化



① 布をはって補強する

下地づくりの段階で、木地の表面をみがいて欠けやすい部分に布を漆ではりつけます。これを布着せといい、輪島塗の伝統的な技法です。木地(器の原型)は器の種類によって木材、つくり方が異なります。塗りの技法のほか、研ぐ、みがくなど、どの工程も手作業で行われます。**輪島市①**

制作工程
全部で120以上の工程があるといわれていますが、大きな工程をしょうかいします。



② 初代加賀藩主が金沢城にきたお祝い

1583年、初代加賀藩主前田利家が金沢城に入城したとき、獅子舞が行われたとされ、それ以降、各町の守護神として、1基の獅子頭を大切に保存しています。**金沢市②**

③ 大聖寺焼

九谷焼は、江戸時代前半、大聖寺藩(加賀藩に属していた藩。現在の加賀市周辺)のもとでつくられていました。領内の九谷村で磁器の原料となる陶石が発見され、磁器の生産が始まったため、九谷焼、あるいは大聖寺焼ともよばれました。藩の財政難で生産を終了しますが、加賀藩によって再開され(再興九谷)、すぐれた職人が現れ、明治時代には海外へ輸出されるなど、伝統的な美術工芸品として確立しました。**加賀市③**

加賀百万石の歴史



◎ 石川県観光連盟
何代もの加賀藩主が長い年月をかけてつくった兼六園。もともと金沢城の近くに建てられた別荘の庭園でした。

問、工芸を広め、工芸品などを収集し、加賀藩の文化度を高めていきました。

※諸説ありますが、1石は米150kg、約7万5000円(米10kg5000円)で計算。102万×7万5000円で765億円。

江戸時代に現在の石川県、富山県一帯を治めた加賀藩(富山藩、大聖寺藩をふくむ)の石高(その土地での米の生産量を示したもの)が102万石だったことから、加賀百万石といわれます。102万石は現代の価値に換算すると、765億円!というすごい経済力でした。3代目藩主利常は藩制を整え、町を整備するなどの事業を行い、学

④ 藍

今から約500年前の無地染め(梅の木を煮出して染料とする染め技法)がもととなり、17世紀半ばにもようがえがかれるようになりました。ししゅうや箔押しの技術は使わず、手がきでもようがほどこされます。草花を中心とした柄が特ちょうで、中心をあわく染めるぼかしや、虫食い(葉が虫に食われているもよう)などの技法が使われています。**金沢市④**



◎ 石川県観光連盟

石川県の歴史的人物 前田利家



初代加賀藩主。織田信長、豊臣秀吉に仕え、近江国(滋賀県)、越前国(福井県)、能登国(石川県)などを治め、賤ヶ岳の戦いのあと秀吉に金沢城をあたえられ、拠点とします。温厚な人柄で人望が厚く、豊かな財力で藩の基礎を築き、文化水準を高めました。

⑤ たたみ4～5枚分の大きさ

1593年には、加賀藩主前田利家が金・銀箔をつくらせたという文献が残っています。気候や水質が箔づくりに適していることも大きな要因です。**金沢市⑤**

純金に少量の銀、銅をまぜ、10円玉大の大きさを最終的にたたみ4～5枚の大きさ(厚さ1万分の1mm)までのばしていきます。写真は箔打機でのばしているところ



◎ 石川県箔商工業協同組合

⑥ 里

五色生菓子とは、天地の恵みに感謝をする意味があり、徳川家の珠姫が3代加賀藩主利常に嫁入りしたことを祝ってつくられました。初代藩主利家、2代目利長は茶人千利休にお茶を学び、茶の湯文化に親しんでいました。そのため金沢では菓子づくりが盛んになりました。また寺院の活動が活発になると、菓子が供えられ、民衆にも菓子文化が広まったといわれています。**金沢市⑥周辺**



◎ 金沢市



金沢の代表的な菓子の福梅(上)、辻占(下)。

⑦ 200地区

毎年7～10月にかけて200もの地区で行われます。キリコとよばれる山車は大きいもので15m以上、重さは2tもあります。起源は中国で、京都の祇園信仰や夏越の神事が関連し、広まったとされています。**能登半島⑦周辺**



◎ 石川県観光連盟

まだある! 石川県の伝統

やまなかしき 山中漆器、かなざわぶつだん なな おぶつだん かなざわしつ き うしくびつ 山中漆器、金沢仏壇、七尾仏壇、金沢漆器、牛首袖、かがぬい みかわぶつだん きりこうけい すず やき ひらびき かが 加賀繻、美川仏壇、桐工芸、珠洲焼、檜細工、加賀はばり かがざお おおひ やき かがらうちん かがみずきぎく 毛針、加賀竿、大槌焼き、加賀提灯、加賀水引細工、かなざわひらく かなざわわがき なな お わ のとはび 金沢表具、金沢和傘、七尾和ろうそく、能登火花、のとじうふ ちうせいだん しぶ に 能登上布、長生殿、治部煮など。

石川県の

伝統技術・伝統文化の歴史と背景

年表

縄文時代	漆器づくりが行われる
奈良時代	718年 能登国ができる
平安時代	823年 加賀国ができる
安土桃山時代	1583年 前田利家が金沢城(金沢市)に入る 1593年 金沢で初めて金箔がつくられる
江戸時代	1655年 陶芸家の後藤才次郎が久谷焼の製造に成功する 1676年 5代藩主・前田綱紀が兼六園のもととなる別荘地をつくる 18世紀中ごろ 加賀友禅の技術が確立される 18世紀 輪島に沈金(溝に金箔を埋める技法)が伝わり、輪島塗が確立する
明治時代	1871年 廃藩置県で金沢県、大聖寺県、七尾県ができる 1872年 金沢県が石川県となる
平成時代	2015年 北陸新幹線の金沢～長野間が開業



石川県のすがた

面積の約半分が山地で、北に半島がつき出しています。奈良・平安時代には能登国、加賀国とよばれていました。1871年の廃藩置県で金沢県、大聖寺県、七尾県が生まれ、その後金沢県が石川県となりました。



